

労働組合

1984年、リッカー労働組合から
日比谷コンピュータシステム支部が独立し、
日比谷コンピュータシステム労働組合が設立しました。

自分たちの力で、 賃金上昇や福利厚生の拡充を

2007年に株式会社日比谷コンピュータシステムに入社以来、組合員として活動し、執行委員長としては3期目になります。当時は入社と同時に組合へ加入していましたが、世の中の変化に伴い若手の加入者は減っています。また、2016年に株式会社HCSホールディングスが設立し、事業会社が分社化されました。それに伴い、2018年にはグループ会社であれば組合に所属できるよう組織規約も変更しました。

労働組合という、かつては賃上げや待遇改善の要求を掲げてストライキを行ったり、経営側と対立するイメージばかりが強かったかもしれません。しかし、今は現場の問題点と会社が目指す方向を労働組合がパイプ役となってすり合わせつつ、自分たちの力で会社を良くしていこうという風土に変わりました。ここ数年で取り組んでいる課題は、賃金上昇や、有給休暇制度の見直しを中心とした福利厚生への拡充です。組合員へのアンケート調査等をもとに会社側と粘り強く交渉しています。そうしたなか、2020年は、業績に連動する形で賞与に期末手当を上乗せできたのが大きいトピックだったと思います。

会社の立場も理解しながら 並走していくのが存在意義

とはいえ、組織としては課題が山積みです。何より若手の加入率がとても少ないのが現状です。確かに、組合活動は業務外

で行われるため活動が見えにくいと思います。しかし、広い視野で労働環境や働きがいの変化等を見つめ直すいい機会になりますから、ぜひ関心を持っていただきたいです。そのためには、組合活動自体も、もっと活発に意見が飛び交う有意義なものにしていく必要があります。

2016年のホールディングス化は、グループ会社全体にとってさらなる成長フェーズを迎えたと思っています。こうした会社の変革を敏感に捉え、組合組織も対応していかなければなりません。後手にならず、会社の立場も理解しながら並走していくことが私たち労働組合の存在意義だと思っています。



執行委員長
株式会社オートマティゴ ソリューションビジネス部
永野 佑

日比谷コンピュータシステム労働組合 歴代執行委員長 1984～2020年

1984.2～	内川 忠幸	1990～	加藤 正雄	2000～	大野 義明	2012～	砂川 守
1984.9～	大池 雅夫	1991～	三本 功	2002～	丹 雅俊	2014～	木村 俊
1986～	高杉 正治	1992～	畠山 幸雄	2003～	大槻 均	2018～	永野 佑
1987～	長嶋 克佳	1994～	大高 良浩	2005～	菅野 藤典		
1988～	大久保 利幸	1996～	横田 雅志	2007～	中山 英俊		
1989～	平木 正則	1998～	中田 明人	2009～	屋宜 克治		